

2019年の抱負

1. 「 I have a dream. 」

右掲は、2025年大阪万博のホームページにあるシンボルです。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」とあります。長寿社会になった日本が世界各国に「長寿」と「健康」の両面で問いかける万博になるそうです。「衣食住」と言いますが、日本はいずれの面でも優れており、さらに医療の面でも国民皆保険という制度があり、その上、介護保険の面でも優れた制度が実施されているのです。また、医療技術も世界最高水準という恵まれた環境なのです。



この万博開催が去年11月24日未明に決まったのですが、思わず「まだ76才や、孫たちと一緒にいける！」と心の中で騒いだ位の喜びでした。と同時に、「 I have a dream. 」というキング牧師の言葉を思い出したのです。「私には夢がある」を実感したのです。これから、孫たちに万博と一緒にいこうと語りかけて「夢」を共有して行きたいと思います。その為には、まず、健康でなければなりません。故木原先生から「3S(小食、咀嚼、粗食)」を教わっていますが、「小食」は「咀嚼」を通じて徐々に実践できて来たと思っていますが、「粗食」が難しい課題になっています。この難題解決には、「自炊」がキーだと思っています。お蔭様で、自炊の習慣化が出来ているので、徐々にコントロールして行きたいと思っています。

623号で「希望」 $\equiv \Sigma$ (身近な夢)と公式化していますが、身近な「夢」(目標)を設定して、次々とチャレンジして行く事で「大きな夢」(希望)に向かって行ける訳です。「2025年万博」という「大きな夢」に対して、毎年、家族的な行事を企画して孫たちと交流して、その度に、万博の夢を語るようにしたいと思っています。この事はビジネスでも同じなのです。「10年ビジョン」を描き、「方針」を決めて「3ヶ年計画」に落とし込んで、次に、年度計画では3ヵ月毎に具体的目標を設定して、その達成度で次の具体的目標を修正して軌道修正を繰り返して行く訳です。公私共々同じ事と実感します。

2. 「文明の利器」

右上は、日常生活で役だっている全自動乾燥洗濯機です。温風式ドラム型の物で、結構、高い物ですが、気温+15℃の温風を出すヒートポンプで乾燥させるので殆どの物を傷めずに乾燥まで自動で仕上げてくれる物です。毎日、朝にセットして昼食で帰宅した際に仕上がっているというタイミングなので天候に左右されずに洗濯が出来ます。毛布や毛糸もOKですし、ノーアイロンシャツもほぼ皺なしに仕上げてくれます。



右下は、去年11月に購入した電気圧力鍋です。この機械もタイマーセットが可能なので、煮物を食べる直前に仕上げる事も可能なのです。実際に、「おでん・肉じゃが」という鍋物で重宝しています。自動炊飯器もタイマーセットが可能なので、同時に仕上げる事も出来ます。

「衣食住」と言いますが、残るは掃除なのですが、今の所、ロボット掃除機ではないので自分で行く必要があります。料理も掃除も「後片付け」が大変なので、まずは、ゴミを片付ける習慣からです。分別の時代ですから、「燃やす物」と「資源ごみ」という2分類では不十分だと思っていますので、可能な限りプラ・紙・ペットに分けるようにしていますが、少量なので溜まるのが難点です。

3. さらなる文明の利器

思い返せば、いろんな文明の利器に恵まれています。自動車、スマホ(電話・カメラ・通信)、パソコン、Fax、コピー機などからIHクッキングヒーター、炊飯器、圧力鍋、洗濯乾燥機、掃除機を含めて何気なく使っています。これからは物ではなく「コト」にシフトして行きます。例えば、磁気カードではなくQRコード決済というスマホを活用する事が始まっています。自動車などもスマホでカーシェアする事が始まっており、ブランド用品(時計・バッグ等)も所有から利用へシフトする文明になりつつあります。

昭和世代にとって、「所有から利用へ」という流れは抵抗感がありますが、例えば、私の場合、愛車は5人乗りなので、今年の正月休みに人生で初めて7人乗りのクルマをレンタルで借りました。孫たちの為に、チャイルド・シートやジュニア・シートまで借りる事が出来て、安心保険(3千円)をプラスして利用しました。TPOに応じてレンタルの時代なのだと実感しました。そう言えば、結婚式では礼服のレンタルを薦められた経験がありますが、その時は、自前の物があったので利用しなかったのです。しかし、成人式の振袖はレンタルが主流になりつつあるようです。若い方は、着る物をレンタルする時代になったのだなあ実感しています。

しかし、個人的には、移動手段としてのクルマ、通信手段としてのスマホ、計算や記憶手段としてのパソコンなどを活用していますので、「人間」の能力を補完する「文明の利器」の殆どを活用できていますが、更なる「文明の利器」に遭遇した際に順応できるか否か不安になります。年齢的に、70才代になり「思考の柔軟性」に欠けて来たことを実感します。これをサポートしてくれるのが若い人なので、遠慮なく支援してもらえるように可愛いお爺ちゃんを目指したいと思っています。

4. 「身近な夢」を实践

本年7月に満70才になり、大阪市の敬老パスが支給されるようになります。このパスを使えば、地下鉄やバスが50円という事で移動の費用が嵩む心配がなくなります。大阪府中小企業家同友会や大阪商工会議所の会員になって異業種交流の機会を持っています。今までは、出不精な性格もあって自分から出かける事が少なかったのですが、これからは「人に会ってパワーを頂く」という基本に戻って、大阪市内を動き回るようにしたいと思っています。

「縁・運・つき」は笑福亭鶴瓶師匠の言葉から頂いた物ですが、まず動くことで「縁」を多くしたいと思っています。「縁」を深めるには、いろんな機会を使って何度もお会いする事が基本と思っていますので、自ら動くことで小さな「縁」を深めたいと思います。この繰り返しの中から「運」が生まれると思います。例えば、「働き方改革」が叫ばれていますが、業務改善の基本はシステム化にあります。この面では、三男の事業が当てはまるお客様に出逢うかも知れないのです。さらには、私の経営コンサルに発展する可能性もある訳です。

お客様に「ハインリッヒの法則:1:29:300」を応用して「300の軽い出会いの中から少し濃い関係性が29誕生し、その中から1つ濃い関係性に発展する」と言っています。これから言行一致で行きたいと思います。その為には、「求めない」という精神が大切です。敬老パスで気軽に移動できるので、昼飯をどこで頂こうかと迷いながら楽しんで「縁・運・つき」を進めて行きたいと思っています。故木原先生曰く「70代は実り多し」です。新たな人との出会いで楽しい時間を増やすという身近な楽しみに加えて、ハインリッヒの法則のような関係性が証明されれば、今後のコンサル人生にも大いに役立つと夢見ています。なにより「論より実践」です。

【AMIニュースのバックログは <http://www.web-ami.com/siryu.html> にあります！】